

武蔵台だより

第370号

発行	こま武蔵台自治会
編集	広報部
発行部数	2,400部(単価41.25円)



究極の安全を求めて

こま武蔵台自治会会長 鈴木俊博

「災害は忘れた頃にやってくる!!」はもう昔の話となってしまいましたが。今は「災害は忘れなくてもどんな場所でもやってくる!!」時代へと突入しました。武蔵台地区も例外ではありません。

私は、昨年の台風15号で大きな被害を受けた千葉県鋸南町へ高麗川在住の「ミドルボランティア」の深田先輩とボランティア活動に参加致しました。台風15号、別名令和元年房総半島台風と呼ばれ、関東地方に上陸としたものとしては、観測史上最強クラスの台風であったため、首都圏で多くの被害が発生しました。特に千葉県は甚大な被害を受け、みなさまもご承知のとおり送電線や電柱多数が倒壊したほか、推計約2千本の電柱が損傷し長期間にわたり停電となりました。また、家の屋根が飛ばされブルーシートを被せた光景は、皆さまも記憶に新しいと思いま

す。実際、ボランティア活動で現地を視た光景は、テレビで観るよりも悲惨な現状が広がっており「日本に安全な場所はない。」と、率直に感じたぐらい衝撃を受けたことを記憶しております。しかし、現地の方々は「知事・役所は何もしてくれない。」と、合言葉のように文句を言いながらも親戚やご近所の方々が助け合っており、若者やお年寄り問わず復興に向けて懸命に作業をしている姿に「形式だけの絆でなく本当の助け合い」を身をもつて教えていただき、とても良い経験させていただきました。このボランティア活動を通じて「避難場所の確保」「行政と被害者住民との連絡体制の不備」「社会協議会とボランティア者の連絡体制。それに伴う移動方法について」等、様々な問題点があることに改めて実際経験を通じ考えさせられました。

こま武蔵台地区は、高齢化率が

50%を超えていることから自主災害規程は重要な要素であると思われま。しかしながら、現在のこま武蔵台自治会の自主防災規程および自主防災計画は、残念ながら現代に追いついていない状態にあり、万が一、この地区に災害が発生した場合、とても厳しい避難対応になることは否定できません。そこで、具体的にこま武蔵台地区で災害等が発生したとき、「どのような対策を想定しているか?」「避難場所および避難物資等の送付先はどうなるのか?」等、まずは役員のみで避難訓練を行わない問題点を算出し、「具体的にどの程度行動ができるか?」を企画立案し、再度、シミュレーションを行ない、自主防災規程案をみなさまへご提案したうえでお知恵をご拝借しながら、新自主防災規程・新自主防災計画およびBCP(事業継続計画)を作成し実施できるよう鋭意努力したいと考えております。

私は、こま武蔵台自治会における「災害にも強い安全なこま武蔵台」を目指し、災害対策の向上を革新させ、こま武蔵台地区のみならず「豊かな生活」を営むことができるよう「究極の安全」に挑戦することが責務だと考えております。「きたえ安全は強い」その志を役員一同で進めていきたいと思えます。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜れば幸いです。ご指

自治会はコロナでどのような活動をしていたのか?

武蔵台は新生活方式の中、ソーシャルディスタンスを取りやすい環境だということを改めて実感できたのではないのでしょうか?

その間、自治会は休止していましたが休止と言っても人が集まる地域では多くの問題が起きるものです。高齢化も進み数年前とは違った問題が数多く起きています。例えば大掃除の参加者の減少問題。高齢化に伴い認知機能が落ちたことと起きたゴミの分別問題。地域との繋がりがなく安易な分別によるゴミ問題。庭木の近隣トラブル(空き家も含む)。「コロナ感染防止による集金・回覧板等の対応。文化厚生では昨年より検討・下見していたバス旅行の計画中止。くりくり健康体操休止による参加会員の健康維持継続対応。体育部では市、地区の体協と行事に関する協議。今まで当たり前に行われてきたマンパワーでの活動・対応が出来ないという今回のコロナウイルスは、数年後に起きると想定されていた武蔵台の問題を浮き彫りにしました。夏になり感染者が爆発的に増えまして。9月からどのように自治会活動を進めていくのか、社会とこの街の動向を見ながら、会員の安心安全な生活を考え進めていくことが自治会に求められているのかもしれない。大きく変化した令和時代、自治会も変化を求められています。

(副会長 渡部)

役員会報告

6月役員会 ▼ 令和2年6月28日

【協議】

1. 資源回収ゴミ(古布) ▼ 一時保管料について
【報告】 会長・区長

2. 区長要望提出
① 1丁目目の街灯設置
② アカシア通り歩道の修理
③ 5丁目7番近くの階段修理

副会長
① 学校再開について
② コミュニティスクールについて

【報告】
① 会長より
② 社会福祉協議委員の募集について
③ コロナ感染予防のため自治会館でのみ回収
④ 家庭枝置き場について
⑤ 7月1日、全世帯を対象に「枝置き場の使用方法について」を配布
⑥ 自主防災組織について
⑦ 近年多発していることを踏まえ地区自主防災について検討
⑧ 文書配信方法について
⑨ 文書配信者を明確にし、保管方法・保管期間等を統一していく

2. 区長要望提出
① ダストボックスの清掃方法について
(1丁目)

3. 専門部
① 広報部
② 環境衛生部
③ 安全対策部
④ 文化厚生部

7月役員会 ▼ 令和2年7月18日

【協議】
1. 事務局員の途中退任の承認
2. コロナ禍に伴う自治会活動の確認
3. 移送サービス事業について

環境衛生部
第1回大掃除中止
第2回大掃除実施予定
下水管高圧洗浄の申し込みを7月の回覧板で実施

文化厚生部
7月18日 第1回部会開催
ペタンク大会、体育祭中止

7月役員会 ▼ 令和2年7月18日

【協議】
1. 事務局員の途中退任の承認
2. コロナ禍に伴う自治会活動の確認
3. 移送サービス事業について

環境衛生部
大掃除の対策として担当場所が遠い、又、周りに民家がない場所はポロンティアを募集しての対応を検討
高圧洗浄については今月締め切り

文化厚生部
くりくり体操の指導者が不在のため再開見込みは不明

専門部より活動報告

環境衛生部活動報告

4月予定の団地内大掃除がコロナ問題で中止となり、今回は天候不順が続きましたが無事に行うことが出来ました。久しぶりに美しい街並みへと蘇り、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

さて、環境部では、以下の活動を行いましたのでご報告いたします。

① ダストボックスへ不法投棄用ポスターの新旧入れ替えを実施しました。

② 家庭枝不法投棄撲滅に向け、ルールの徹底を促すチラシの全戸配布を行いました。

③ 幹線道路の街路樹(アカシア)ヒコバ工除去を随時行っています。

④ 空家の環境問題について、現在5か所の苦情を頂いており順次、市役所に改善要望書を提出し対応を進めています。

⑤ 8月に下水管高圧洗浄幹旋取り纏めを行い、9月より順次行います。

⑥ 32番ダストの床面破損修理を行いました。

【今後の取り組み】
高齢化や空家等が多くなり、掃除の参加人数減や遠い場所から参加される街区の負担軽減に向け、特に人家の無い場所を選定しポロンティアの手を借り実施出来るよう検討していきます。

環境部員による第2回町内美化パトロールを9月に実施します。

空家の環境問題については引き続き行政と連携を取り改善に向け迅速に取り組みます。

.....

広報部活動報告

コロナウイルスの影響でなかなか活動できずにおりましたが、少しずつではありますが活動を開始致しました。今年度はいろいろな行事、イベントが中止になっています。みんなが集まらずにできることを考え活動していきたいと思えます。ホームページでは、緊急のお知らせ・投稿コーナー等必要に応じて随時更新していきたいと思えます。

▼ 広報誌発行に向けて会長、各専門部の皆さんに挨拶文の依頼をしました(6月)

▼ 広報誌369号を発行しました(7月)

▼ 広報部員の皆さんにHPに載せる記事を依頼しました(7月)

▼ 会長、各専門部の皆さん等に活動報告の記事を依頼しました(7月)

現在370号発行に向けて活動中です(8月)

※前回369号に記載してありました広報誌発行の単価が間違っていました。

誤3円↓正2・4円



コミュニティ・スクールを基盤とした 武蔵台小・中学校 小中一貫教育始まる

武蔵台地区学校運営協議会 会長 石元 登

皆様こんにちは、以前自治会長を務めておりました石元です。その節は大変ご協力頂きまして誠に有難うございました。

私は、今年から新たに創設されました、「武蔵台地区学校運営協議会」会長をお受け致しました。

日高市は今年度から、全学校群において「コミュニティ・スクール」を基盤とした小中一貫教育を始めました。(高萩小中は昨年から)

小中一貫教育とは、「目指す児童生徒像を共有し、9年間一貫した教育内容のもと、系統的な指導を目指す教育」です。

武蔵台校区として育てたい児童生徒像は「たくましく未来を切り拓き、一歩上を目指す台っ子」です。令和5年度からは中学生も小学校の校舎で施設一体型として学ぶ事となっています。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を導入した学校で日高市全地区で実施されています。学校運営協議会メンバーは、小中の両校長先生及び小中の両PTA会長を含み10人が日高市教育委員会から任命されています。

学校運営協議会は、保護者・地域住民・学校の

三者が連携を深め、地域のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、保護者や地域住民の学校運営への協力及び参画を促進し、特色ある学校づくりに取り組むものです。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の主な3つの機能は、

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる
- ③教職員の任用に関して教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べる事ができる

等々です。地域の子供たちが凛々しく立派に育ちますよう皆で協力して支えましょう。どうぞ宜しくお願いします。



◎自治会としても現在パトロール体制(仮名)「安全クワッドパトロール」を準備しています◎

ながら見守りをしよう!

お散歩や庭のお手入れ等、
普段の何気ない習慣を子供達の通学時間に。
特別なことはいりません。
何かをしながら子供達を見守る習慣を
ここ武蔵台にも。

わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

新型コロナウイルスの影響で4月に緊急事態宣言が出され外出もままならない日々、運動不足とストレス解消のために友人とウォーキングを計画した。密を避けるために早朝に出発し団地の中だけではなく近くの山々へも足を延ばした。桜の季節には初めて見た緑色の鬱金（うこん）桜。

6月にはガスタンク手前左側の山一面に紫陽花が咲き感激するとともに、新しい発見に得をした気分になった。また、畑には野菜の可愛い花も咲いており、花の名前を覚えたことも収穫であった。

4丁目と7丁目の間から散歩道を下ると新緑の中から西武鉄道新型ラビュー号が現れる。発見はまだまだあり、多峯主山では二ホンカモシカに遭遇。そしてヘビに遭遇し(きゃ〜)跳び上がった。4月から始めたウォーキングは鶯の声を聞きながら今は蝉の声に代わったが続いている。コロナが少し落ち着いたら秋には山歩きに挑戦するつもりだ。緑豊かな環境に感謝しつつ自然を楽しみたい。

コロナ感染者数が増えるなか、遠くまで出かけなくても団地再発見もなかなかいいものである。(K.M)



ラジオ体操

8月1日から子供達は夏休みに入り、武蔵台ショッピングセンターで武蔵台ラジオ体操の会主催、やまなみ食堂協賛でラジオ体操が始まった。

澄んだ空気のなか親子での参加も多く、第1、第2の体操で固くなった体をほぐし、たまには大あくびもできるが気持ち良く一日のスタートを切ることができた。子供達も大人に混じってラジオ体操をしたことは思い出としていつまでも心に残ると思った。

コロナの影響で短い夏休み、思い出をいっぱい作って欲しいと願った。

編集後記

梅雨明けとともに、猛暑となりました。コロナウイルスに熱中症と気になることばかりです。これからも気をゆるめずに予防していきたいと思えます。

夏祭りも中止となり、短かつた夏休みも終わり、元気に登校する子供たちを見るとホッとします。これからも見守りたいと思います。残暑厳しい日々、体調管理に気をつけてください。(K・M)



●お知らせ●
例年行われていた市の防災訓練は今年はありません。

おくりやみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 岩月 清 (72歳) 三丁目
ご逝去日 五月二十七日
- 佐藤 純子 (76歳) 三丁目
ご逝去日 六月二十八日
- 梅津 弘 (78歳) 三丁目
ご逝去日 七月七日
- 鹿島多壽子 三丁目
ご逝去日 七月三十日